

新宿区洪水ハザードマップ (洪水避難地図)

洪水ハザードマップについて

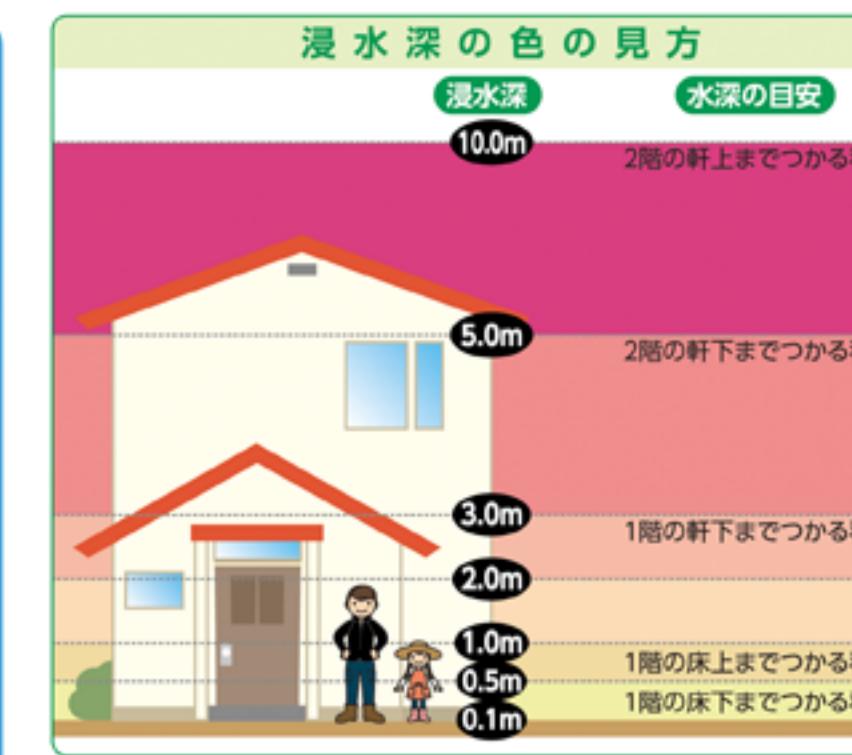
この地図は、大雨による河川の増水や雨水による浸水の予測結果(東京都作成)に基づいて、浸水範囲とその程度を示したもので、対象とした降雨は、想定最大規模降雨(総雨量690mm・時間最大雨量153mm)によるものです。

洪水の予想される区域やその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化、河川や下水道の整備状況により変化します。そのため、大雨のときに、常にこの地図のような浸水が発生するということはありませんが、十分に注意してください。地図上に地域別の避難所を表示していますので、日頃から経路の確認をしておきましょう。

大雨の際には、区から避難指示等が出る場合もありますので、各種の情報には十分注意を払いましょう。

新宿区では、区内の気象情報や河川の情報を、ホームページや携帯電話で閲覧できるサービスを行っていますので、いざというときに備えて、どうぞご活用ください。

令和3年8月 新宿区



浸水深	水深の目安
10.0m	2階の軒までかかる程度
5.0m	
3.0m	1階の軒下までかかる程度
2.0m	1階の床上までかかる程度
1.0m	1階の床下までかかる程度
0.5m	1階の床までかかる程度
0.1m	1階の床下までかかる程度

避難行動チェックリスト

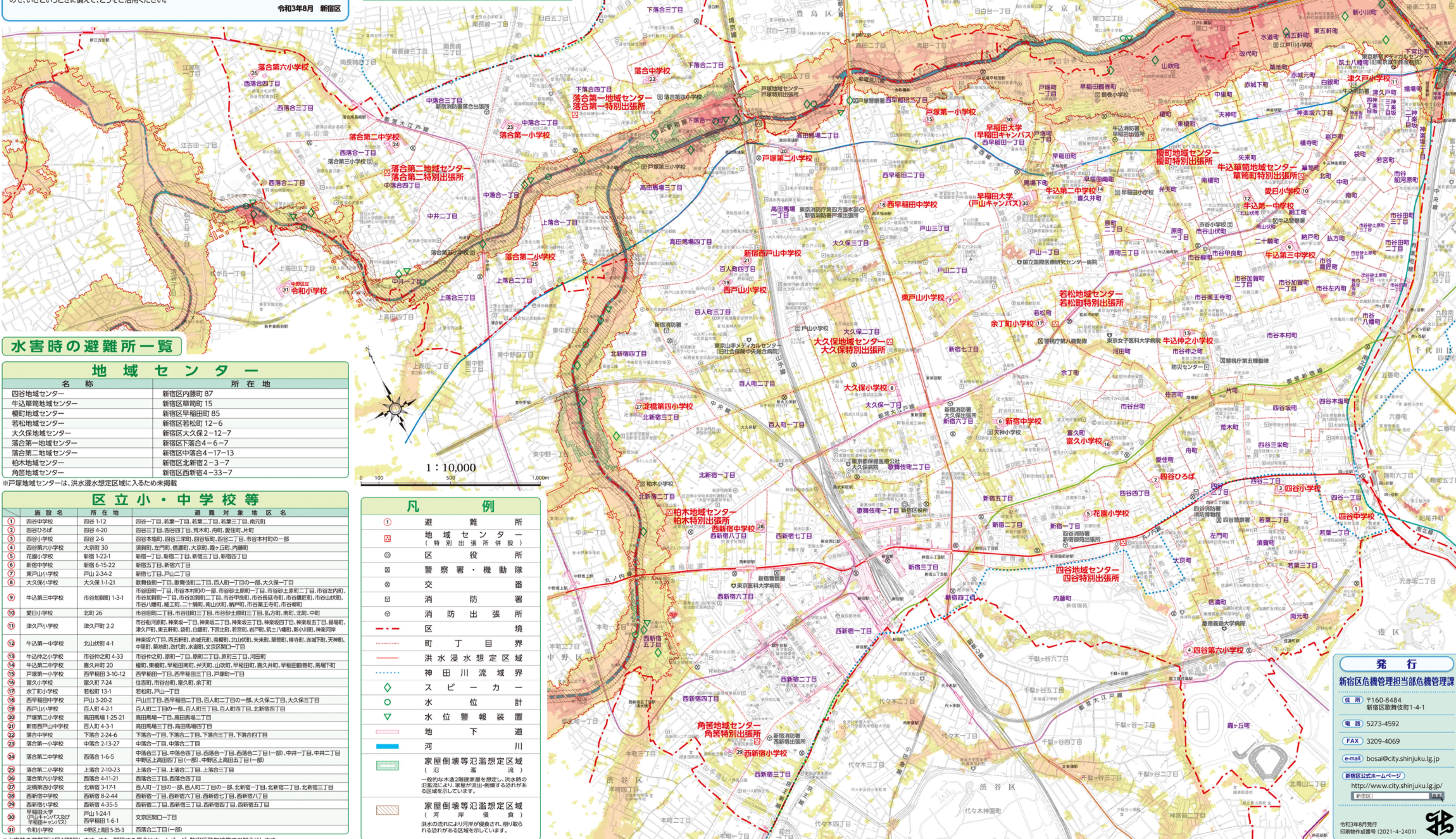
お住まいや職場等で予想される浸水の深さや避難場所等を、以下のチェックリストを用いてあらかじめ確認しておきましょう。

- ① あなたの住まいや職場で予想される浸水の深さはどれくらいですか?
- 5.0m~10.0m未満
 - 3.0m~5.0m未満
 - 2.0m~3.0m未満
 - 1.0m~2.0m未満
 - 0.5m~1.0m未満
 - 0.1m~0.5m未満

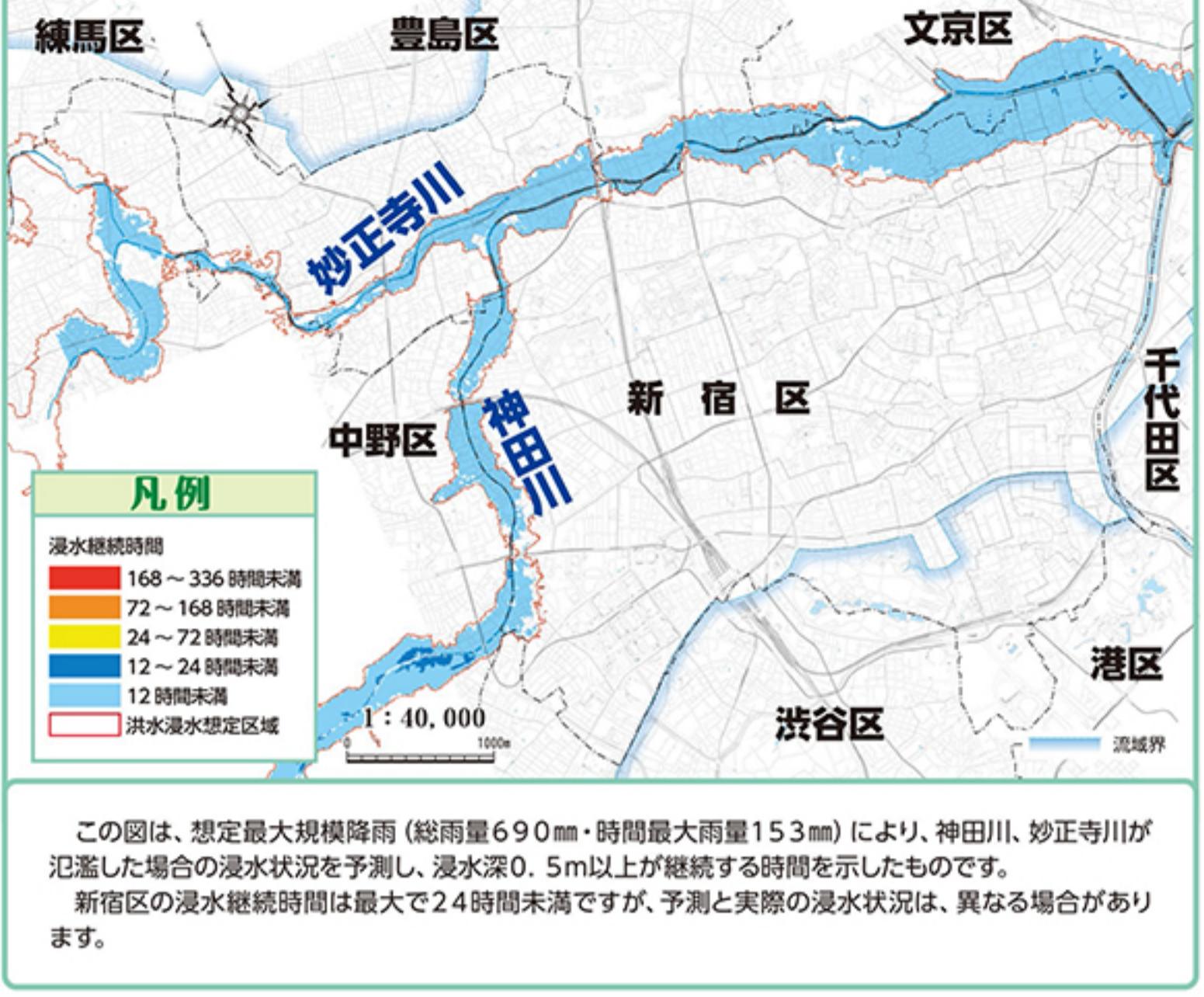
- ② 避難する場所を決めておきましょう。
-
- ③ 自宅または職場等からの避難経路を地図に記入しましょう。

- ④ 家族や親戚などの連絡先を記入しましょう。
- | 名前・氏名 | 職場・学校など | 電話番号 |
|-------|---------|------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

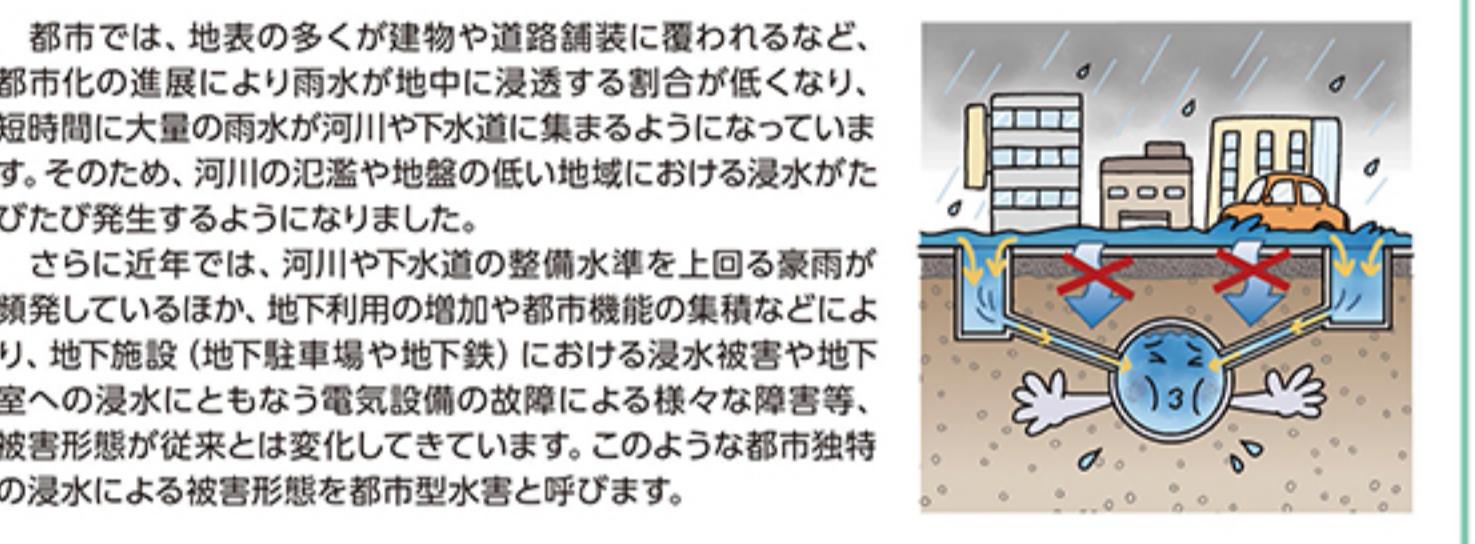
◆川から離れた場所に、着色されている理由
川沿いの着色箇所は、主に川からあふれ出た水によって生じた浸水を示しています。
一方、川から離れた場所における着色は、流域に降った雨水が地表面や下水道を通って、川に流れ出る過程で、地盤が低い箇所や地形的に雨水が溜まりやすくなっている箇所、あるいは下水道の流下能力の不足している箇所で生じた浸水を示しています。



洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)

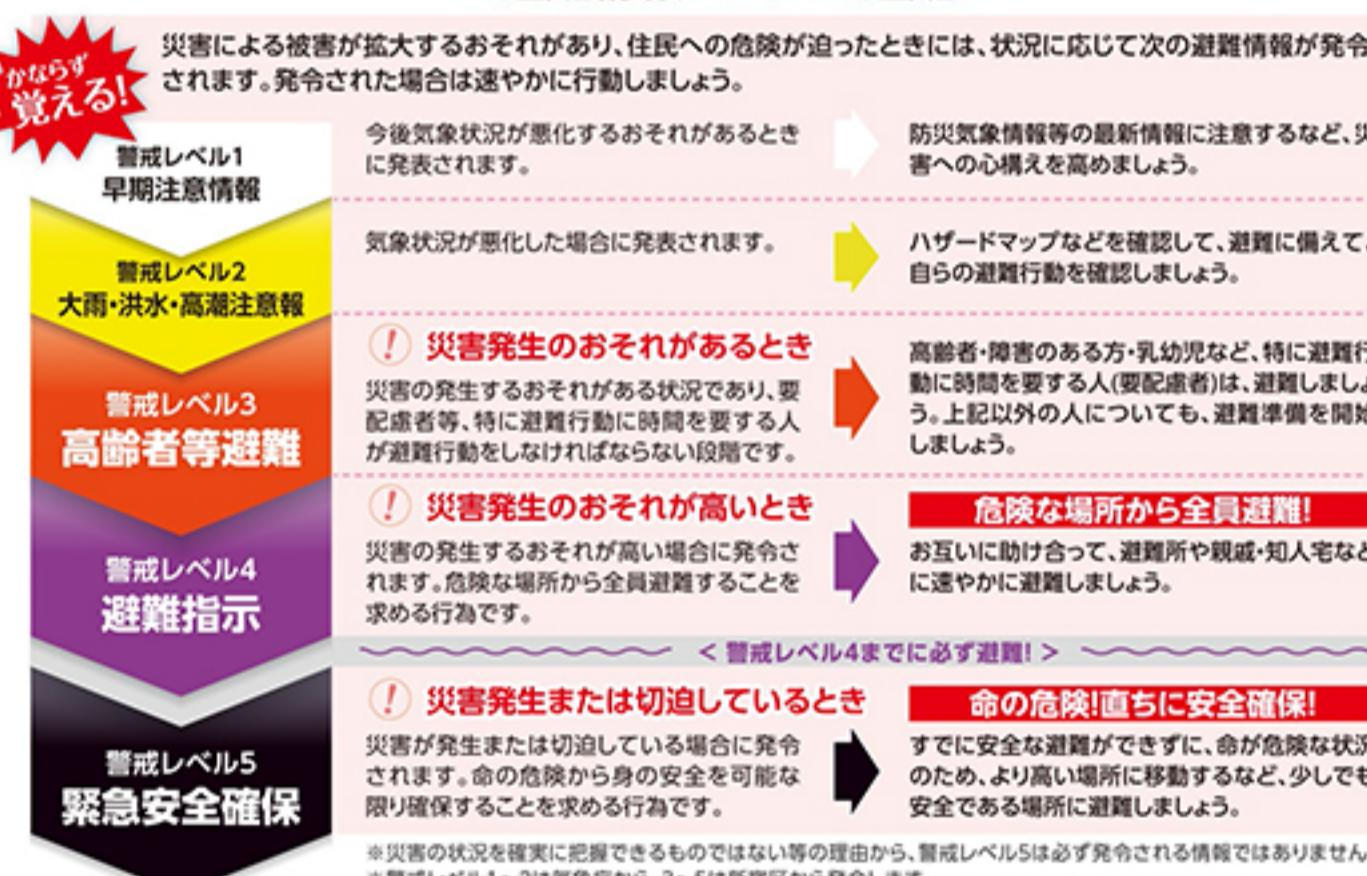


都市型水害とは



発災時 災害時安全に避難するために

<避難情報に基づく避難>



豪雨の時は、川に近づかないでください

区内の神田川及び妙正寺川は、豪雨の際に短時間で水位が上昇し、水が溢れる都市河川の特徴があります。その他の対策として、区では以下の取り組みを行っています。

○河川の水位計測

設置局名	設置地点
相模川	西新宿7-14
北川	北川37
日比谷	日比谷37
戸山川	戸山川2-11
一ツ橋	文京区駒込1-25
白金橋	新小川7-17
妙正寺川公園	中野区松久保1-33
西落合公園	西落合2-19
水道橋	中井1-14
昭和橋	中落合1-6

○河川の水位警報(サイレン)

降雨・積雪地点周辺や川で発生した場合、河川の水位が上昇します。警報地点の水位が警戒水位を超えた場合、付近のスピーカーから周知用のサイレンが鳴ります(吹鳴(すいめい)といいます)。吹鳴パターンは、次のとおりです。

水位警報(サイレン)の吹鳴方法

種類

音量

吹鳴方

はんらん注意吹鳴

はんらん危険吹鳴

*スピーカー、水位計、水位警報装置の設置場所は、裏の地図に表示しています。

高潮浸水想定区域図 (浸水深)



高潮浸水想定区域図 (浸水継続時間)



○高潮浸水想定区域図について
この図は、東京湾沿岸において、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、浸水が想定される区域、想定される浸水の深さ、想定される浸水の継続時間を示したもので、高潮の影響が極めて大きくなる台風(台風中心気圧910hPa)日本に上陸した既往最大規模の台風である室戸台風を基本)を想定し、この台風が東京湾の周辺を通過する確率は、1,000～5,000年に1回と想定されています。
※新宿区では、図の区域以外では、高潮による浸水は想定されていません。

平常時 日頃から災害への備えを万全に

● 災害への備え



家族で避難方法や集合場所、連絡方法などを話し合っておきましょう。また避難所までの避難経路を実際に歩いて、危険な箇所がないかチェックしておきましょう。



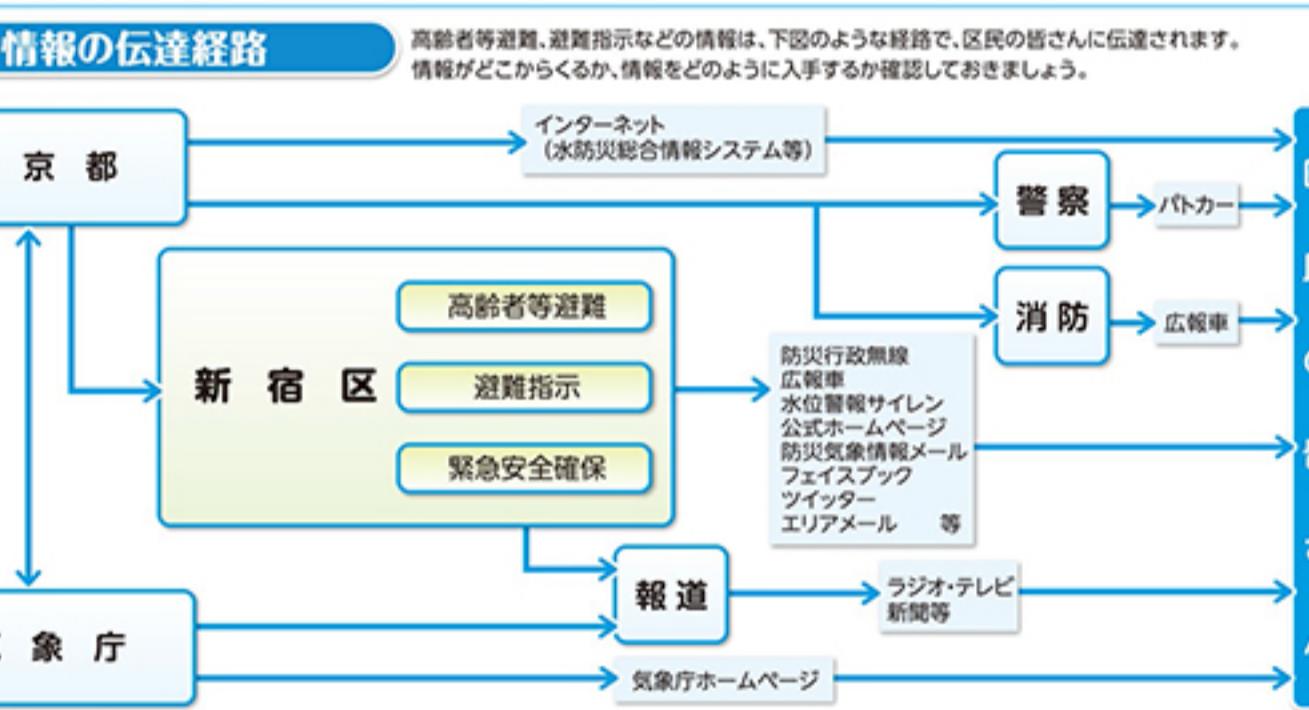
家のまわりに風で飛ばされそうなものはないか、窓や戸扉のガタつきはいかないか、屋根材や壁は偏んでいないか、家具の配置は適切かなご自宅の状況を確認し、日頃から安全・減災対策をしておきましょう。



テレビ・ラジオ、緊急報知メールなどで最新の気象・災害情報を入手しましょう。高齢者等避難や避難指示が発令された場合はもちろん、危険を感じた場合にも、自主的に避難準備を始めましょう。

<警報と注意報の種類>

種類	説明
大雨注意報	浸水被害や土砂災害が発生するおそれのあるとき
洪水注意報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壟による災害のおそれのあるとき
大雨警報	重大な浸水被害や土砂災害が発生するおそれのあるとき
洪水警報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壟による重大な災害のおそれのあるとき
大雨特別警報	数十年に一度の大雨が予想され、重大な災害が起こるおそれが甚しく大きいとき



● 雨の強さと降り方



やや強い雨
1時間に 10～20mm未満
ザーバーと降る雨。傘をさしても濡れてしまうほど雨の度で、側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のかけ崩れが起きてやすくなるため、危険地帯では避難の準備が必要になります。



強い雨
1時間に 20～30mm未満
地面に水たまりができ、地面からの跳ね返りで足元が濡れ、話し声が聞き取りにくくなります。



激しい雨
1時間に 30～50mm未満
バケツをひっくり返したような雨。河川の氾濫をはじめ、土石流などが起きやすくなるため、危険地帯では避難の準備が必要になります。



猛烈な雨
1時間に 50～80mm以上
息苦しくなるような圧迫感のあふれる雨。による大規模な災害が発生するおそれがあります。車の運転も危険です。

● 気象情報を確認しよう



地下室等を設置する方へ 浸水対策届出のご案内

裏の地図に表示された「浸水した場合に想定される水深が0.1m以上の区域(色付きの区域)」に地下室等を設置する場合は、浸水対策措置の届出が必要です。詳しくは、下記へお問い合わせください。

[届出先] 新宿区都市計画部建築指導課構造設備担当 [電話] 5273-3745

発災時 災害時安全に避難するために

● 避難の仕方

屋内安全確保

立退き避難

浸水防止のポイント

河川の水位警報(サイレン)

音量

吹鳴方

はんらん注意吹鳴

はんらん危険吹鳴

吹鳴方

</